

めざす子ども像

**地域に誇りをもち、心豊かに、共に生きぬく子ども**

取組目標

「つながる力を育てよう」

～地域の一員であることを自覚し、誇りを持つ子どもを育てる～

## 【今年度の取組紹介】

## ★オンライン「昔遊びの会」

あやめ池小学校では、例年1月に、地域の方々が1年生に昔遊びを伝授する「昔遊びの会」を行います。いつもなら、体育館でにぎやかにワイワイと行う恒例行事ですが、今年度はコロナ禍の中、図書室からオンラインで配信しました。画面越しではありましたが、あやとり・コマ回し・けん玉など、子どもたちは食い入るように画面を見つめとても楽しそうに遊んでいました。



## ★コロナ感染防止対策を入念に漢検実施

伏見中学校の教室をお借りして、実施している漢字検定。今年度は、さらに感染防止対策を徹底し、教室設営では、机といすのアルコール消毒、窓を開けての換気、全員マスク着用と手指消毒、受験者が安心して検定に取り組めるよう配慮しました。受験者も年々増加の傾向にあり、資格取得への意欲がうかがわれ、来年度から、小学4年まで拡大、またOB・OGも学生に限り認め、受験の機会を広げていきます。



## 【今年度のまとめ】

今年度は、コロナ禍ではありましたが、徐々に活動を再開し、漢字検定はもとより、園外保育の補助や、サッカー教室、お茶、英語、書道を楽しむ会もおこなうことができました。

昔遊びに至っては、オンラインで実施するなど、感染防止のための様々な工夫や、努力がなされました。地域でできることを、つながりを絶やさぬよう細々とでも続けることの重要性をここ2年の活動で感じています。

## 【来年度に向けて】

本校区は、特別イベントなど企画せず、学校や園の教育ニーズに沿った活動を粛々と続けていきます。

## めざす子ども像

**地域に誇りをもち、心豊かに、共に生きぬく子ども**

## 取組目標 「つながる力を育てよう」

～「伏見中 大好き！」と心から言える日のために～ 地域と共に育つ生徒の育成

## 【今年度の取組紹介】

## ◆「先生の推し本の紹介」（文化発表会に合わせて）

図書ボランティアの方々には毎年、「ふれあい文化発表会」の際にブッカーの貼り方講習会や推薦図書の読み聞かせなど、一緒に活動する時間を設けています。今年度はふれあい行事ができなかったため、掲示物を作成していただきました。「先生の推し本紹介」

「点字ブックとは?」「奈良市の図書館について」と様々な工夫を凝らした展示物ができました。生徒たちがよく通るところに掲示しました。興味深げに読む子、図書室にきて借りていく子、と読書に対する意識を向上させることにつながりました。



## ◆図書室環境整備（通年）

中央図書館の司書さんが来校される時に合わせて、ボランティアの方々も来てくださっています。司書さんの専門的なご意見をお聞きしながら、本の配置、新刊の選書等おこなっています。昼休みの開館時には生徒たちと話をし、希望図書の聞き取りや、おすすめ本の紹介をしてくださいました。図書室に行く生徒数が増え、本に親しむ機会が多くなったと感じています。来年度以降もさらに充実した取組にしていきたいと考えています。



## 【今年度のまとめ】

新型コロナウイルス感染症対策をとりながら慎重に活動をすすめました。漢字検定は3回行うことができました。教室、手指の消毒、マスクの着用、検温等、徹底しました。図書ボランティアの方々には来校する人数を制限し、マスクとマウスガードの併用着用で対策していただきました。外でおこなっている花植えボランティアや環境整備清掃などは地域の方々と生徒たちが一緒に活動することができました。地域連携を主軸とした、「地域と共に育つ生徒の育成」を目指し、今年度もできることを考えて、取り組むことができました。

## 【来年度に向けて】

今年度もふれあい行事が全く開催されませんでした。毎年生徒が活躍する地域交流事業や地域ボランティアに参加することもできず、残念な一年でした。こんな時だからこそ、情報発信・啓発活動にも力を入れ、コーディネーターの方々やボランティアの方々による、よりよい体制づくりに取り組むたいと思います。

めざす子ども像

**地域に誇りをもち、心豊かに、共に生きぬく子ども**

取組目標

**「いきいきわくわく地域とともに」～伏見でふれ合い、学び、育つ伏見っ子～地域に根ざした「自ら学ぶ子ども 心豊かな子ども たくましい子ども」の育成**

**【今年度の取組紹介】**

主な柱を「地域連携による伏見まつりの開催～子どもの笑顔が地域を笑顔に～」 「地域文化遺産学習等を通じた学校教育活動の充実」 「夏季清掃や本の補修作業等を通じた学校環境整備」とし、取組を進める予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、大幅に縮小し、取組を実施しました。

「子ども見守り活動事業」では、子どもの登下校の時間に多くの地域の方々に通学路に立っていただき、安全を見守っていただきました。また、今年度は、見守り隊員紹介式をリモートで行いました。

学校環境整備の側面からは、地域ボランティアの方々と自然委員会の子どもたちが花壇や中庭の整備等に取り組みました。また、図書ボランティアの方々と図書委員会の子どもたちが図書室の蔵書補修等を行いました。読書をより楽しく気持ちよく行うために、部屋のレイアウトの変更等も行われました。このように、多くの方々が、より良い学校環境づくりに力を尽くしてくださいました。

**【今年度のまとめ】**

教育活動の活性化、地域拠点としての学校の機能の維持向上、子ども・地域・学校相互のより良い関係形成の面において、次のような様子から、一定の効果を得ることができたと考えています。

- ・地域の方との交流の機会が少なくなったが、その少ない機会の中でも、子どもたちが地域の方との活動を通して、地域に対する愛着、関わってくださる方々への感謝の気持ち等が育ってきました。
- ・学習を通して、子どもたちが自分にできることを考える等、今後の素地となる活動や体験を行うことができました。

**【来年度に向けて】**

諸活動に携わってくださる方の世代交代や新たな人材の参加は徐々に進みつつありますが、継続的かつ安定的な人材の確保が課題であると考えます。また、毎年予算が減額されることや働き方改革の観点からも、事業の見直しの必要があると考えます。地域の方の今まで以上のボランティア的協力や教職員の地域行事への参加方法を検討していく必要があると考えます。更に、コロナ禍において、どのように取組を実施していくかを検討していく必要があると考えます。

めざす子ども像

**地域に誇りをもち、心豊かに、共に生きぬく子ども**

取組目標

**「出会いと体験から豊かな学びを」ー地域ぐるみの子育てー**

## 【今年度の取組紹介】

## 読書活動推進事業

【お話の会】【図書ボランティア】2つの団体の方が図書館教育の充実にご尽力いただいています。お話の会（地域のボランティアの方）が、各教室で本の読み聞かせをしてくださっています。また図書ボランティアの方が自作の紙人形・脚本を用いたパネルシアター劇で、本の紹介をいただいています。本の修繕や図書館の充実にもお力添えをいただいています。本との出会いを通して、心豊かな子に育ってほしいと願っています。



## 授業サポート事業

植物の栽培を通して、豊かな学びの場を創造するために、地域の方にご尽力いただきました。今年度は、田植え体験や稲刈り体験をさせていただき、農家の方の苦勞や願いについて学習しました。



## 【今年度のまとめ】

今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえつつ、本事業の一層の充実を考えての取組となりました。限られた中ではありますが、学校に地域の方が集まっていただくことで、学校と地域の連携がさらに深まり充実した取組が実施できました。新たな取組の実施として、田植えや稲刈りの体験学習、環境支援事業（学校周辺の花いっぱい運動）も実施することができました。関わってくださったボランティアの累計は2000名を超えました。すべての方々のご尽力をもって子どもたちが「心豊かに育つ」学校教育が展開できたと考えております。

## 【来年度に向けて】

本事業の充実をすべての関係者の皆様のお知恵をいただきながら、「地域に誇りをもち心豊かに共に生きぬく子どもの育成」に向けた取組を継続・発展させていきたいと思っております。

めざす子ども像

**地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく子ども**

取組目標

**自分たちが暮らす地域に親しみを持ち、  
地域の人たちに支えられていることを感じられるような取組の充実。**

## 【今年度の取組紹介】

## ◆ぶっくらばこさんによる図書室整備【読書啓発事業】

ぶっくらばこの活動として例年は図書室の環境整備と読み聞かせをしてくださっています。しかし、今年度は感染状況に応じての開催となりました。年間通じての読み聞かせ活動はできませんでしたが、子どもたちが気持ちよく読書が行えるよう、ブッカーかけや棚の整理などに力を注いいただきました。子どもたちが図書室に通う機会も増え、図書に親しむ姿が多く見かけられました。

## ◆ケナフで感謝の気持ちを伝えよう。【地域に学ぶ事業】(2年生)

本年度初めての取組で子どもたちが栽培したケナフを利用し、はがきづくりに挑戦しました。ケナフの栽培・はがきづくりに、ゲストティーチャーとして地域の方(自主防災・女性防災クラブ・すこやか会等)をお迎えし、体験活動が行うことができました。子どもたちが完成したはがきに感謝の気持ちのメッセージを書き、ボランティアの方々に届けることができました。この交流を通して、地域の方々と子どもたちとの繋がりが深まりました。また、登下校や地域行事でお世話になっている地域の方にも感謝の気持ちを届ける取組となりました。



## 【今年度のまとめ】

コロナ禍の為、感染状況を見極め、実施の時期や感染症予防対策を行いながら、事業を進めることができました。感染状況が落ち着いた10月頃より、PCサポート事業(全学年)をはじめ、防災体験(4年生)・世界遺産学習(5年生)を行うことができました。また、環境整備事業やケナフ栽培等の屋外での活動は感染症予防対策と熱中症対策を行いながら実施しました。新しい取組として、「ケナフで感謝の気持ちを伝えよう」(2年生)は地域の方々にゲストティーチャーとして来校していただき、地域の方とつながりが生まれ、子どもたちが地域に愛着を持つ良き体験事業となりました。来年度もコロナ感染状況を把握し、より豊かな体験活動ができるように計画していきたいです。

## 【来年度に向けて】

来年度も読書啓発事業・環境整備事業・地域に学ぶ事業を中心に子どもたちが地域に親しめるような体験活動を実施していきたいです。また、コロナ感染状況を把握し、感染予防対策を行いながらどの時期にどの活動をどの程度まで実施できるのかを、コーディネーターと協議しながら進めていきたいです。

**めざす子ども像** **地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく****子ども****取組目標** **身近な人と人との輪の中で、豊かに学び、  
自ら考え行動する子どもを育成する。**

【今年度の取組紹介】 ～地域の人と一緒に楽しもう事業～

## 【栽培教室】

地域の方にゲストティーチャーとして来ていただき、サツマイモやダイコン、タマネギなどを畑で栽培したり、花壇やプランターで様々な植物を育てたりしました。種まきや苗植え、水やり、草引き、収穫などその都度、丁寧にわかりやすく教えていただきました。友達と一緒に「芽が出てきたよ」「こんなにたくさんとれたよ」と栽培物の生長を身近に感じながら、土に触れ、できた栽培物を収穫し、家庭に持ち帰って調理して味わいました。保護者から、感謝の言葉も聞かれ、これらの直接体験は子ども達の心に大きな感動をうみました。



## 【お話こんにちは】

毎月2回、地域の方によるゲストティーチャーやPTAのボランティアによる絵本や紙芝居など



のお話の読み聞かせをしていただきました。お話を聞くことで想像力を広げたり、登場人物の心情に共感したりして豊かな感性の育ちにつながっています。また、絵本の修理や保護、絵本の部屋の環境づくりなどの充実が図られ、子ども達は毎回お話を聞くことを楽しみ、絵本の読み聞かせ活動で豊かな心情や話を聞く態度が育まれました。

## 【今年度のまとめ】

地域の方やゲストティーチャーとの体験活動は普段経験できないことに触れる機会となり、子ども達にとって豊かな学びとなりました。また、地域の方々がいつも温かく接してくださることで、回を重ねるごとに、子どもたちは親しみを感じ、自分から挨拶をしたり話しかけたりするなど積極的に関わっていく姿につながりました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、クラスごとで、時間も限られる中ではありましたが、子ども達は毎回活動を楽しみにしており、園での活動が地域とつながり合う場となりました。

## 【来年度に向けて】

来年度も地域の方や子ども達が安心して活動に取り組めるように、新型コロナウイルス感染症をはじめ、様々な安全対策を講じながら、園、地域、家庭と連携し、子どもにとってよりよい心豊かな体験ができるように、事業を継続していきたいと思えます。地域と子どもがつながり合う喜びを感じることができるよう、保育の内容を検討し計画していきたいと思えます。

めざす子ども像

**地域に誇りを持ち、心豊かに、****共に生きぬく子ども**

取組目標

**地域とのつながりを感じる・広げる・深める**  
～地域の教育力を活かし、心揺さぶられる感動体験の充実と心豊かな子どもの育成～

## 【今年度の取組紹介】

◇いきいき広場「カプラで遊ぼう」（地域交流事業）

講師の先生を招き、地域の方と一緒にカプラを使って遊びました。講師の方から教えて頂いたいろいろな遊び方で、自分なりに組み立て方を考えたり、友達を認めたりする姿が見られました。一人で取り組むだけでなく、それぞれの作品を組み合わせながら、友達や地域の方と一緒にイメージを広げ、リズム室を大きな街へ大変身させました。地域の方から「素敵だね」「崩れてしまっても大丈夫だよ」と言葉をかけていただき、優しさに触れることで「もっとやってみよう」という思いが強くなり、工夫を凝らしたビルやマンション、駅、汽車など協力して作ることができました。できあがった街の様子に参加した全員で達成感と喜びを分かち合うことができ、心に残る体験となりました。また、地域の方と一緒に過ごすことで子どもたちは「一緒に遊んでくれてありがとう」「〇〇さんまた来てね」と、地域の方を身近に感じ、親しみをもって関わる姿に繋がりました。



◇地域の方の「おはなし広場」や保護者の方の「読み聞かせスマイル」（体験学習事業）

今年度より地域の方がしてくださる絵本の読み聞かせを「おはなし広場」と名称しました。子どもたちは、「今日は、おはなし広場の日だね」「今日の絵本はなんだろう」と期待を膨らませ、お話の時間を心待ちにしています。地域の方の優しく穏やかな声で繰り広げられるお話に、ワクワク感や想像を膨らませ、お話の世界を楽しんでいました。保護者の方が絵本の読み聞かせをしてくださる「読み聞かせスマイル」では、身近な人が自分達のために読み聞かせをしてくれることに喜びを感じています。読み聞かせの回数を重ねていくことで、子どもたちの聞く力が育っています。地域の方や保護者の方には、子ども達の実態に合わせて絵本の内容を相談したり園の絵本を活用できるよう紹介したりする中で、新しい絵本も増やしました。絵本を通してたくさんの方と関わり、いろいろなお話に出会うことができたことで、気に入った絵本を見つけたり、友達と絵本の話について話したりして、お話が好きになり、友達と言葉のやりとりやイメージしたことを楽しむ表現力に繋がりと、豊かな心が育まれました。



## 【今年度のまとめ】

新型コロナウイルス感染症対策の為、様々な制限がある中で、安心・安全に実施できる方法を工夫し、地域の方や講師の方、保護者の方から協力を得て進めることができました。環境整備・体験活動・地域交流では、人と関わる経験を積み重ねることができ、地域の方がいつも温かい言葉をかけてくださることで、子どもたちの自信や意欲、人に優しくできる気持ちも育ちました。世界遺産学習では蚕の飼育を通して命あるものへのいたわりに気付き、命を大切にできる気持ちが育ちました。また地域の方が子どもたちと活動したり、地域学習へ出かけたりする中で、「いつも元気な挨拶ができる」「話をよく聞いて伝えている」と、子どもたちの成長を実感していただくことができ、園と地域が共に子どもの成長を喜び合うことができました。

## 【来年度に向けて】

コロナ禍の中でも実施できる方法を引き続き検討しながら事業の継続や再開を行い、子ども達の豊かな経験となるように進めていきたいと思っております。また、保護者の方の事業への関心が更に高まるようにホームページや掲示物等、情報発信の方法を工夫し、子ども・保護者・地域が一体となり、共に子どもたちの育ちを分かち合い、繋がりを深めていくことができるよう取り組んでいきたいと考えています。